

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	英語(再履)		
英文授業科目名			
開講年度	2004年度	開講年次	再履2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化科目Ⅰ		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	芝 優子(学内連絡教官 佐藤 美弥子)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
科学的内容を扱ったアメリカのTV番組のビデオを教材とし、関連インターネット・サイトをも参考にしながら、実際に使われている英語に接し、役立つ英語を習得することを目標とします。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
教科書：Science World vol.1 (Asahi Press)

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

教科書後半を取り扱い、基本的に教科書に沿って進めます。ビデオを見ながら聞き取り、理解するという作業が多くなるので、英語の苦手な人にとっては予習や復習が重要になるでしょう。そして、何よりも、出席して授業に積極的に参加することが必要です。文章を理解するために、まず声を出して読んでみる。理解した文章は、言ってみる。こういうことの繰り返しを丁寧に続けます。英語を実際に使う場合、必要なのが辞書の助けであり、英和中辞典以上の辞書をしっかりと使っていくので、辞書を必ず持参すること。辞書については授業の中でも説明していきます。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

積極的な参加態度を重視。出席、小テスト、レポート(その都度指示)を評価。

### 【オフィスアワー：授業相談】

金曜午後に適宜受け付ける。

### 【学生へのメッセージ】

英語はコミュニケーションの道具です。あなたが自分でやらなければならないことです。授業に出ていても「観客」でいる人は評価対象から外します。「参加」する努力を期待します。

### 【その他】